

①地方創生推進交付金 効果検証シート

交付対象事業の名称	とべもりを核とした関係人口創出とSDGs体験事業				
総合戦略における位置付け	選ばれるベッドタウン	事業実施期間	令和4年4月～令和5年3月		
事業の概要	観光資源としてのとべもりの魅力を向上させ、とべもりの課題（県外へのPR不足）を解決することで、魅力ある観光地づくりを進めるほか、学びの場として次世代を担う人材を育成するとともに、将来のしごと創生につなげる。				
具体的な取組み			取組みの成果		
内容：とべ動物園での砥部焼絵付体験を行った 日時：令和4年5月1日～5日9時～17時 会場：とべ動物園			砥部焼絵付体験に449人が参加した。		
内容：えひめこどもの城での砥部焼ロクロ体験を行った。 えひめこどもの城、砥部町内各小学校、砥部中学校でチラシを配布し周知を図った。 日時：令和5年2月18日10時～16時 会場：えひめこどもの城 研修室			砥部焼のろくろ体験に38人が参加した。		
事業費内訳	交付決定額	実績額	事業実績経費内訳		
	34,000円 ※1/2国庫補助	34,000円	こどもの城イベント用リーフレット	39,600円	
			材料費	28,590円	
重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (令和2年度末)	目標値 (令和4年度末)	実績値 (令和4年度末)	達成率	最終目標値 (令和6年度末)
本事業で整備した施設及びスマホアプリの県外利用者数 (人)	—	1000人	542人	54%	5497人
本事業で開発したSDGsプログラムの利用者数	—	2,000人	0人	0%	2,771人
3施設の利用者数	751千人	801千人	1,077千人	134%	901千人
重要業績評価指標 (砥部町総合戦略)	現状値 (令和2年度末)	実績値 (令和4年度末)		達成率	最終目標値 (令和6年度末)
移住者数	延べ16人 (平成27-30年)	延べ156人			延べ60人
観光客入込数	1,147,339人	977,092人			1,262,000人
町職員による事業評価	1 2 ③ 4	1	地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる	
		2	地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達成しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる	
		3	地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる	
		4	地方創生に効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、若しくは取組としても前進・改善したとは言い難い	
外部有識者による事業評価	(コメント) ※記入欄が不足する場合は裏面又は別紙にご記入ください ・KPIの目標値には届かなかったが、事業開始前よりも取組が前進改善している。 ・スマホアプリやSDGsプログラムの利用者に関しては、コロナ5類移行後である2年目以降に期待したい。 ・砥部町の重要な地域資源（とべ動物園・えひめこどもの城）を活用し、砥部焼の絵付・ろくろ体験を開催することは、砥部町の魅力向上につながる。 ・GW中は県外からの観光客も多く、動物園での絵付体験はPRに繋がったと思うが、ロクロ体験は初心者にはハードルが高いと思う。 ・とべ動物園・えひめこどもの城に来ている人にPRしても県外へのPRとはならない。				
今後の事業の検討点	(コメント) ※記入欄が不足する場合は裏面又は別紙にご記入ください ・県外へのPRに力を入れて本事業を継続することで、将来の仕事創生・地方創生につながると思う。 ・子どもを対象とした自然体験活動をさらに充実させることはできないか。 ・「とべ動物園」と「えひめこどもの城」をつなげた取組みについて検討してはどうか。 ・小学校入学時に砥部焼制作を体験して給食で使ってもらおう等の取組みを行い、地元の人から砥部焼に慣れ親しんでもらう取組みが必要ではないか。				